



平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 長大

上場取引所 東

コード番号 9624 URL <http://www.chodai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永冶 泰司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 塩釜 浩之

TEL 03-3639-3301

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	3,143	17.2	640		642		475	
29年9月期第1四半期	2,682	18.1	822		681		488	

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 434百万円 (%) 29年9月期第1四半期 466百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	53.88	
29年9月期第1四半期	55.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	23,538	11,641	49.0
29年9月期	22,990	12,205	52.7

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 11,539百万円 29年9月期 12,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		15.00	15.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	2.4	1,050	31.5	1,050	37.9	600	43.4	68.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	9,416,000 株	29年9月期	9,416,000 株
期末自己株式数	30年9月期1Q	591,385 株	29年9月期	604,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	8,817,890 株	29年9月期1Q	8,754,040 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
3. その他	7
受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や財政政策による景気の下支えにより雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな成長基調で推移していますが、米国の政権の不安定さや英国のEU離脱、またアジア新興国の成長と中国経済の減速など依然として不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く建設コンサルタント業界の市場環境は、本年2月1日に平成29年度補正予算が成立し、本予算と合わせここ数年では前年度に次ぐ6.8兆円の公共事業費が確保されるなど、比較的堅調に推移しています。またICTの活用によるi-construction（アイ-コンストラクション：ICTの積極活用により建設生産システム全体の生産性向上を目指す国家施策。長大グループもその一方策であるCIM（3次元モデルによる設計、監理システム）の開発分野で業界を先導しています）が積極的に推進されるなど、建設コンサルタントに対する期待は依然として高い状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、前第50期事業年度から新中期経営計画「長大持続成長プラン2016」（平成28年10月～平成31年9月）をスタートさせ、ビジョンである「顧客および株主に信頼される企業」「持続的成長を維持する安定経営企業」「多様な能力の人材とダイバーシティを活かす企業」「事業執行の改革を進める企業」を積極的に推進しております。で推移するなか、米国の新政権による経済施策の不安定、アジア新興国の景気の減速、英国のEU離脱などの影響から、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の業績といたしましては、受注高は67億64百万円（前年同四半期連結累計期間比15.0%増）、売上高は31億43百万円（前年同四半期連結累計期間比17.2%増）となりました。

利益面では、営業損失6億40百万円（前年同四半期連結累計期間8億22百万円の営業損失）、経常損失6億42百万円（前年同四半期連結累計期間6億81百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億75百万円（前年同四半期連結累計期間4億88百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、当社グループの売上高は、受注の大半が官需という特性により、第2四半期以降に偏る傾向があります。

セグメントごとの概況は次のとおりであります。

[コンサルタント事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高62億99百万円（前年同四半期連結累計期間比11.3%増）、売上高30億4百万円（前年同四半期連結累計期間比16.2%増）となりました。

[サービスプロバイダ事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高3億95百万円（前年同四半期連結累計期間比141.4%増）、売上高69百万円（前年同四半期連結累計期間比11.2%減）となりました。

[プロダクツ事業]

当第1四半期連結累計期間の状況は、受注高68百万円（前年同四半期連結累計期間比24.2%増）、売上高69百万円（前年同四半期連結累計期間比274.6%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,627	5,534
受取手形及び完成業務未収入金	3,129	1,983
未成業務支出金	5,392	7,827
原材料及び貯蔵品	2	2
繰延税金資産	405	613
その他	166	215
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	15,717	16,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,511	1,493
土地	2,026	2,026
リース資産（純額）	126	122
その他（純額）	271	301
有形固定資産合計	3,935	3,943
無形固定資産		
その他	177	197
無形固定資産合計	177	197
投資その他の資産		
投資有価証券	550	585
差入保証金	523	526
保険積立金	597	597
繰延税金資産	1,011	1,001
その他	585	625
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	3,159	3,227
固定資産合計	7,272	7,368
資産合計	22,990	23,538

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	1,106	992
短期借入金	—	2,350
1年内返済予定の長期借入金	212	187
リース債務	73	74
未払法人税等	708	54
未払消費税等	427	41
未払費用	1,210	733
未成業務受入金	2,930	3,538
賞与引当金	487	108
役員賞与引当金	34	—
受注損失引当金	156	209
その他	367	541
流動負債合計	7,714	8,832
固定負債		
長期借入金	450	425
リース債務	65	60
退職給付に係る負債	2,515	2,530
その他	38	49
固定負債合計	3,069	3,065
負債合計	10,784	11,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,107	3,107
資本剰余金	4,884	4,884
利益剰余金	4,185	3,575
自己株式	△196	△191
株主資本合計	11,981	11,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	102
為替換算調整勘定	9	12
退職給付に係る調整累計額	41	47
その他の包括利益累計額合計	124	162
非支配株主持分	100	102
純資産合計	12,205	11,641
負債純資産合計	22,990	23,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,682	3,143
売上原価	2,046	2,299
売上総利益	636	843
販売費及び一般管理費	1,458	1,484
営業損失(△)	△822	△640
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取家賃	4	4
保険解約返戻金	17	0
投資事業組合運用益	57	—
為替差益	62	—
雑収入	7	7
営業外収益合計	151	15
営業外費用		
支払利息	7	10
為替差損	—	1
雑損失	2	4
営業外費用合計	9	17
経常損失(△)	△681	△642
税金等調整前四半期純損失(△)	△681	△642
法人税、住民税及び事業税	45	39
法人税等調整額	△239	△207
法人税等合計	△194	△168
四半期純損失(△)	△487	△474
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△488	△475

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△487	△474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	29
為替換算調整勘定	△6	4
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	21	40
四半期包括利益	△466	△434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△464	△436
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業	6,299	111.3	23,512	111.0
サービスプロバイダ事業	395	241.4	1,240	163.8
プロダクツ事業	68	124.2	527	130.9
合計	6,764	115.0	25,280	113.2

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等が含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業 (百万円)	3,004	116.2
サービスプロバイダ事業 (百万円)	69	88.8
プロダクツ事業 (百万円)	69	374.6
合計 (百万円)	3,143	117.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。